

授業 2-1	日本の現状を知る		
ねらい	国内の社会情勢や現代の社会で求められている資質・能力について理解させる。	教材	ワークシート 1 枚

展開時間	指導内容	留意事項	
導入 5 分	1 日本の社会課題やVUCAについて理解しよう。		
	・現代の日本で言われている社会問題や課題は何か考えさせる。 ・社会変化とVUCAについて説明する。	・数人に発問し、「少子高齢化」や「働き手が減ってきている」などのキーワードが生徒から出た時点でスライドの説明に移る。	
展開 1 10 分	2 [ワーク①]VUCAについて調べ、考えよう。		
	(1)現在がVUCAの時代といわれる理由を調べさせる。 (2)VUCAの時代を象徴する事象を調べさせる。 [(1)(2)](個人 6 分) (3)グループの意見を記入させる。 (グループ共有 4 分)	・クラスの雰囲気を見て主体的に発表させる。	
展開 2 15 分	3 [ワーク②]日本の生産年齢人口の推移について考えよう。		
	・生産年齢人口について説明する。(2 分) (1)生産年齢人口が減ることにより社会がどう変化するか考えさせる。(グループ 5 分) (2)生産年齢人口の減少をチャンスに変える方策を記入させる。 (グループ 5 分)(クラス共有 3 分)	・生産年齢人口の減少により社会の構造が変わることに気付かせる。 ・ワーク②(2)の枠を 2 分割し、半分を自分の意見、もう半分をグループやクラスの意見を記入するよう声掛けをする。	
展開 3 10 分	4 [ワーク③]ピンチをチャンスに変えるための資質・能力を考えよう。		
	(1)あなたが考えるピンチをチャンスに変えるために必要な資質能力は何ですか。理由を記入させる。(個人 5 分)(グループ共有 5 分)	・ピンチをチャンスに変えるための必要な資質・能力を把握させる。	
展開 4 5 分	5 [ワーク④]グループの人が考える資質・能力をメモしよう。		
	・ワーク③で選んだ資質・能力をグループで共有させる。(グループ共有 5 分)	・将来の予測をすることが難しいことに気付かせる。	
まとめ 5 分	6 [ワーク⑤]本時の振り返り		
	・本時の気づきを記入させる。(個人 5 分)	将来の予測をすることが難しいことに気付かせる。	